



一般社団法人
日本ヘルスケア歯科学会
事務局 東京都文京区関口1-45-15-104
Tel. 03-5227-3716
Fax. 03-3260-4906

URL <http://www.healthcare.gr.jp>
E-mail : center@healthcare.gr.jp

編集代表 林 浩司
編集制作 有限会社 秋 編集事務所

学会入会金	歯科医師	5,000円
	その他	3,000円
学会年会費	歯科医師	12,000円
	その他	3,000円

郵便振替口座 00190-7-407895
名義 一般社団法人日本ヘルスケア歯科学会
銀行振込口座 三菱UFJ銀行 江戸川橋支店
普 0051809
名義 一般社団法人日本ヘルスケア歯科学会

CONTENTS

明日はみえていますか?	p.1	ヘルスケア歯科医院ちょっと拝見します 新リレー3 p.6
第5期オピニオンメンバー候補者の推薦受付案内 ..	p.2	告知板
事務局からのおしらせ	p.2	ヘルスケアフォーラム
ヘルスケアQ&A	p.3	ヘルスケアミーティング 招聘演者抄録
ヘルスケア診療所のつくり方	p.4	ヘルスケアミーティング2018案内
Healthcare bibliography	p.5	

催しものご案内

- | | |
|---|--|
| ① ヘルスケアミーティング2018
日時：2018年11月23-24日
会場：秋葉原コンベンションホール | ⑤ ウィステリアセミナー
日時：2019年2月17日
会場：スペースアルファ三宮 |
| ② 禁煙支援歯科衛生士育成ミーティング
日時：2018年11月24日午後
会場：秋葉原コンベンションホール | ⑥ 歯周組織検査相互実習研修会
日時：2019年3月3日
会場：太陽歯科衛生士専門学校 |
| ③ 認定歯科衛生士実技検定会
日時：2018年12月9日
会場：太陽歯科衛生士専門学校 | ⑦ オピニオンメンバー会議&併催セミナー
日時：2019年3月10日
会場：品川シーズンテラスカンファレンス |
| ④ 歯科衛生士育成基礎コース
日時：2019年2月10-11日
会場：太陽歯科衛生士専門学校 | ⑧ 徳島ワンデーセミナー
日時：2019年5月26日
会場：長井記念ホール（徳島大学内） |

重要なお案内

● 以下の同封物をご確認ください

1. 2019年度会費振込用紙

当学会の会計年度は1月から12月までです。2019年度会費の振込用紙を同封いたしましたので、お近くの郵便局からお早めにお振り込みくださいますようお願い申し上げます。

2. ウィステリアセミナー案内

3. 徳島ワンデーセミナー案内

明日はみえていますか？



齊藤 仁（日本ヘルスケア歯科学会副代表）

ヘルスケアミーティング2018の開催まであとひと月不足となりました。

今年のヘルスケアミーティングは学会設立20周年を記念して行われます。この20年の歯科界の変化と我々ヘルスケア歯科学会が積み上げてきたものを対比しながら、これからの日本の歯科医療、自分たちの診療所がどうあるべきかを考える場にしたいと考えています。

来春には平成の時代が終わりを告げ、新しい時代を迎えようとしています。世の中全体が着々と次の時代への対応を進めているなかで、我々歯科医師は何を考へなくてはならないのでしょうか？

私は昭和60年に北海道大学歯学進学課程に入学しました。そのころ歯学部の先生方は、私たち学生に対して「歯科医師過剰のこの時代になぜ歯学部に来たのか？」「君たちが歯科医師になるころには歯科では食べていけない。すすきでタクシーの運転手をやること

になる」と事あるたびに言っていました。歯科医師過剰時代にどう対応していくかが当時の若手歯科医師の課題の一つでした。

現在私は臨床実習などで母校の学生と接する機会が多いのですが、今は「これからは歯科医師が不足してくる」「君たちはいい時代に歯科医師になった」と言われているようです。大学歯学部、歯科大学の学生定員を減らし、教育や国家試験の制度を変え、歯科医師過剰を抑制し、年配の歯科医師がリタイアしていくなか、歯科医師不足の時代になってきているのだと思います。実際学生や研修医と話をしても、自分の治療技術に対する不安はあっても、将来に対する危機感のようなものはあまり感じられません。果たして若手歯科医師の明日は明るいのでしょうか？

先日、札幌市内の歯科衛生士学校へ行く機会がありましたが、来年の新卒学生への求人票が廊下の壁一面に所狭しと貼られていました。どこの医院も歯科衛生

士不足で人材確保に苦勞している様子がうかがえます。一方で歯科衛生士の数はというと、平成30年度の全国の歯科衛生士養成校の約60%が定員割れを起こしており、さらには約45%の養成校で、志願者そのものが定員を満たしていないという現状があります。歯科衛生士の数そのものが少ないだけでなく、歯科衛生士になろうとする若者自体が年々減ってきており、歯科衛生士の奪い合いは今後さらに加速していくものと思われます。いくらお給料が高くても、歯科医師のアシスタントばかりさせられるのでは歯科衛生士としてのやりがいを感じられず、その職場はやがて見切りをつけられてしまいます。今の時代、歯科衛生士がいない歯科医院は経営そのものが成り立たなくなってしまう。歯科衛生士が自分の仕事に誇りと責任を持ち、長く勤務したいと思えるような医院づくりをしていかなければ、若手歯科医師の明日は厳

しいと言わざるを得ないでしょう。一方、患者と関わり続け、口腔の健康だけでなく生活の質の向上に大きく寄与できるヘルスケア診療を提供している歯科医院に勤務する歯科衛生士は、仕事のやりがいを感じ、できるだけ長くそこで仕事を続けたいと考えています。そういう医院づくりができるように、我々の学会は若手歯科医師を支援しています。

この会が設立された当時の会員はそろそろ自分はリタイアし、次の代へ引き継ぎを考える年齢になっているかと思います。最初のころは積極的に参加されていたけど、しばらく会の活動から遠ざかっている皆さん、代替わりをきっかけに自分の代では成し得なかったヘルスケア診療への転換を考えてみませんか？ 今度のヘルスケアミーティングには後継ぎの方をぜひ参加させてください。ご子息、ご息女に明るい明日を見せてあげてください。



第5期オピニオンメンバー（代議員）候補者の推薦（自薦・他薦）を受け付けます

選挙管理委員会（委員長 田中正大）

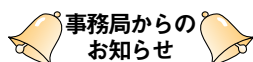
学会の第4期の代議員（通称オピニオンメンバー）が、平成30年末日をもって任期満了となることに伴い、定款8条の代議員選挙規定に基づき、次期代議員を選出します。別表の日程でオピニオンメンバー選挙を行います。

すでにホームページ上で、選挙告示と次期代議員立候補者（自薦・他薦）の募集を告知していますが、立候補締切は11月15日（木）です。自薦・他薦の方法は、代議員選挙規定の4～7項を参照してください。なお、現在の第4期オピニオンメンバーに対しては、選挙管理委員会は留任の意思を尋ねます。

なお、オピニオンメンバー選挙の投票は、ニュースレター次号（vol.21 no.5）に立候補者名簿を同封します。立候補者名簿に不信任の印を付ける方法で、候補者ごとに、会員の信任投票を求めますが、この信任投票は、不信任の意思表示がない場合は、規定（代議員選挙規定の3項）により信任とみなします。不信任が、会員の1割を超えた場合には、当該立候補者は信任されません。

【別表】

10月23日	選挙告示（ホームページに掲載）
11月第1週	同（ニュースレター vol.21 no.4に掲載） 第5期代議員立候補者受付（自薦・他薦）
11月15日	立候補者受付締切
12月	立候補者名簿送付（ニュースレター vol.21 no.5に同封）



事務局からの
お知らせ

メールアドレスについてのお願い

事務局よりメールを送信した際、アドレス不明で戻ってくることがあります。メールを変更された場合は、お手数ですがメールにて事務局（center@healthcare.gr.jp）までご連絡ください。学会ホームページからも送信できます。

またドメイン名が『hotmail.com』『hotmail.co.jp』

『outlook.com』『me.com』に送信できない場合があります。他にメールアドレスをお持ちの方は、事務局までご連絡ください。なお、事務局宛にメール後、2、3日しても返信がない場合は、お手数ですが、電話・Fax等にてお問い合わせください。

ヘルスケア

Q & A

今回の Answer : 高木景子 (神戸市開業)

Q 感染予防の基本的な考え方について教えてください。

A スタンダードプリコーション

血液などを介して感染する可能性のある疾患を持った方だけに特別な対応をする、という考え方は今や時代遅れ。スタンダードプリコーションとは、すべての人は伝播する病原体を保有していると考え、湿性の生体物質をすべて感染性ありと扱う考え方です。湿性の生体物質には、血液・汗以外の体液（唾液、鼻汁、喀痰、尿、便、涙など）、傷のある皮膚、粘膜を含みます。これらの湿性物質との接触が予想される時には肝炎などの既往の有無にかかわらず、予防具を用い、処置の前後には手洗い、手指消毒を行います。

感染予防の基本的な考え方

感染予防の基本は、①汚さない②感染経路を断つ③希釈する④洗い流す・取り除く⑤滅菌消毒を的確に、です。これらができるだけシンプルにおこなえるよう、スタッフ全員でアイデアを出し合って取り組むのがコツです。医院の中でスタッフによって意識が異なるとせっかくの取り組みも意味がなくなりますから、スタッフ間（もちろん院長も含めて）で意識を統一しなくてははいけません。

① 汚さない

唾液や血液のついたグローブで、カルテや引き出しの中、パソコンのマウスなどを触っていませんか？ 診療を始める前にすべて準備しておくのが一番ですが、途中でどうしてもという時はグローブを外して触るか、他の清潔な人に頼みましょう。

② 感染経路を断つ

環境を介する感染経路を断つには①の「汚さない」ことが有効です。また、個人防護具をきちんと使用することで、患者から患者、スタッフから患者、患者からスタッフなど、人から人への感染を防ぐことが可能です。マスク・グローブは正しく装着し、飛沫が飛ぶ可能性のあるときは必ずゴーグルや

フェイスシールドを使用しましょう。

③ 希釈する

汚れたものはまず希釈、を考えましょう。チェアから下げた器具は水の中に浸漬することで微生物は希釈されます。また、微生物が乾燥して固着するのを防ぐためにも効果的です。希釈することで、万が一の針刺し事故の場合の感染リスクを減らすことができます。

④ 洗い流す・取り除く

消毒・滅菌の前処理はとても大切です。消毒薬やオートクレーブなどの熱処理は、微生物を構成しているタンパクを変性させることで殺滅します。微生物がついたまま処理すると、変性したタンパクが器具などに固着してしまいますから、必ずタンパク分解作用のある薬品で洗浄したあと、消毒・滅菌を行います。血液や唾液の付着した器具をそのまま薬液で清拭したり浸漬したりすることは（現在多くの医院でされていますが）、よくありません。チェアなど洗浄できないものも、いきなりアルコール等で清拭するのではなく、タンパク分解作用のある薬品で微生物を壊し、その後拭きとるようにしましょう。

⑤ 消毒滅菌を的確に

オートクレーブ、ウォッシャーディスインフェクタ、超音波洗浄機など、使用している器械の特性を理解していますか？ それぞれの器械に適した器具・使用方法を選択できていなければ、せっかくしていることも無駄になりかねません。消毒しているつもり、滅菌しているつもり、ではなく、きちんと的確に効果を発揮できているか、院内で話し合い、確認しましょう。滅菌や洗浄の効果を検査するインジケータもいろいろありますので活用してください。

手間やコストがいくらかかっても大丈夫！ という医院は多くはないでしょうから、どうすれば手間やコストを抑えて最大の効果を発揮できるか、考えてみましょう。最初から完璧を目指すのではなく、各医院でできることから取り組みましょう。いきなり100点でなくてもいいのです。少しずつ改善する、でOKです。

感染予防は日進月歩、しっかりと情報アンテナを張って、正しい今の考え方を取り入れていくよう心がけましょう。

参考図書として…

『よくわかる歯科医院の消毒滅菌管理マニュアル』

柏井伸子 著 (インターアクション)

『歯科医師・歯科衛生士のための滅菌・消毒・洗浄・バリヤテック』吉川博政 ほか 著 (クインテッセンス出版)

『医療現場の滅菌』日本医療機器学会・小林寛伸 著

(へるす出版)





大胆なタイトルで書き始めようとしています。ヘルスケアへの歩み、転換は各院長がそれぞれの医院で築き上げていくものです。年齢、開業歴、地域、立地、スタッフ、いやそもそもの医療観、志、性格からして違うわけですから。そういえば、かつて開催されていた基礎コースの紹介にも「単にノウハウを提供するものではありません」の文言があったように思います。そういうものなのです。ただ前身のヘルスケア歯科研究会設立から20年。先人の後ろをついていけば安全なところ、また多くの人が迷うところ、つまずくところもある程度わかっているから、これから歩み始める人は多少の時間短縮、余計な苦勞もせずに済むかもしれません。というわけで、学会の各イベント後の懇親会などで囁かれていることを集めていきます。よければ参考にしてください。なお、書いたものを予めベテランから若手まで数名の会員に見てもらって、そのコメントも毎回掲載する予定です。

1. 立地（物件）

最近が開業前の若手さんと出会うこともたまにありますので、ここから始めます。周囲に歯科医院が「多い少ない」、家賃・地価が「高い安い」、「広い狭い」などももちろん様々なポイントがあるわけですが、ヘルスケア的には①住宅地、②スタッフが集まりにくそうだったり通いにくそうだったりというところは避ける、③最低チェア4台のスペースで、できれば拡張性が見込めるような物件がいいです。もちろん安いに越したことはありません。

①住宅地の中でなくても住宅地に隣接しているところであればいいと考えます。オフィス街、繁華街、学生の街、企業内などでも、ある程度の患者数が見込めるならそこでもできるヘルスケア診療はあります。ただ各年代の人に来てもらってこそ、長く関わるヘルスケア診療の醍醐味が味わえます。家族が揃って来院してくれる可能性がある場所がいいです。なお家族というのは同じ世帯の家族だけではなく、別世帯の家族でも「苗字が違うか

らわからなかったけど、この子はあの人のお孫さんだったんだ」なんていうこともよくあります。子どものときから来ている人が、自分の子どもを連れてくるようになる、とかも憧れますね。

②ある程度の患者数が見込めるならへんびな場所ではないでしょうから、スタッフが集まる可能性はあります。ただ車通勤が当たり前の地域、電車バス通勤が当たり前の地域、いろいろありますがスタッフが通いやすいというのも一つの要素です。例えば駅近なので広範囲で求人が出せる、というのはメリットになり得ます。

③やりたいのはチーム医療なのでスタッフが活躍する場（チェア）も必要です。ヘルスケアが軌道に乗ると、歯科医師が1人でもチェア5台が稼働するイメージがあります。ですので、最初は2台からでも3台からでもいいので、物件としては最低4台置けるものをお勧めします。慎重派の先生が初期投資を少なく、かつデッドスペースがないようにとお考えなのは、この時代とくに都市部では無理ないのですが、「器に見合った患者さんが来るから」と根拠もなく背中を押しています。あとの診療所図面とも関連しますが、医院規模を広げることのできる可能性があるところもいいです。

2. 診療所図面

図面の相談を受けることもあります。周囲を見渡しても、移転した人、全面リニューアルした人、隣のテナントが空いたので広げた人、拡張のため院長室やスタッフルームがなくなって近くにその分を新たに借りた人などがいるので、開業前の一時期にすべてを見通せると考えるのは無理、と割り切ることも大事です。家も「3度建てないと思っただけにならない」なんて聞きます。ただチーム医療という観点から、一般的な歯科医院を手がけていることが多い業者さん（設計士）が見落としそうなことをいくつか挙げておきます。今回はスペースの関係で二つだけです。

① 院長の動線

一般に診療所で動線というと、患者さんの動線、スタッフの動線を考えがちです。院長の動線もしっかり意識しておきましょう。患者さんを診ている途中で歯科衛生士が診ている患者さんのチェックなどに呼ばれること、デンタルエックス線全顎撮影が必要なことは日常茶飯事です。また診療時間中に少し時間的に余裕ができたらかにこのことになるでしょう。少なくとも院長室にこもってドアを閉めてはいけなと思っていますが、ドアを開けていたら患者さんの動線、目線も気になるどころです。



ベテラン A

開業時に配管だけをしておいてチェアを入れないスペースは、カウンセリングコーナーにしておくといいです。またヘルスケア的にロケーションはあまり関係ないと思います。ヘルスケア診療はどこでもできます

② 個室

「プライバシーに配慮された空間で心地よいメンテナンスを」というのもよく目にします。ただ患者さんとのやりとり含めて本当に任せられる歯科衛生士とどう出会えるか、育てられるかを考えると慎重にならざるを得ません。各チェアでの会話の内容がすべて把握できないとしても、そこそこにオープンな空間で院長が常に「気配」を感じていられるというのもいいものです。スタッフにとって安心感もあるようです。(つづく)



若手 B

ヘルスケア診療を志す開業前の人は、ヘルスケア医院を数多く見学しておきましょう。またヘルスケアを実践されている先輩から先を見据えたアドバイスがもらえるのはありがたいです

Healthcare bibliography



雑誌掲載

予防の常識・非常識

藤木省三

nico 8, 9, 10 月号掲載中 p.60-61 クインテッセンス出版

病因論と時間軸から見た歯周治療

岡 賢二

日本歯科医師会雑誌 8 月号 p.43-50

すべての人にカリエスマネジメントを

杉山精一, 齊藤仁, 他

ザ・クインテッセンス 8 月号 p.64-78 クインテッセンス出版

下顎高度顎堤吸収に対して顎位の改善と生理機能の回復をめざした症例

森谷良行

ザ・クインテッセンス 9 月号 p.208-211 クインテッセンス出版

私の道具箱 湯器ちゃん

武内義晴

ザ・クインテッセンス 9 月号 p.156 クインテッセンス出版

歯科医院チームマネジメントのヒント

沼澤秀之

ザ・クインテッセンス 8 月号 p.130-131, 9 月号 p.132-133, 10 月号 p.122-123 クインテッセンス出版

What is ヘルスケア歯科診療? ④

藤木省三

デンタルダイヤモンド 7 月号 p.98-104 デンタルダイヤモンド社

What is ヘルスケア歯科診療? ⑤

杉山精一

デンタルダイヤモンド 8 月号 p.98-101 デンタルダイヤモンド社

What is ヘルスケア歯科診療? ⑥

杉山精一

デンタルダイヤモンド 9 月号 p.92-95 デンタルダイヤモンド社

What is ヘルスケア歯科診療? ⑦

田中正大

デンタルダイヤモンド 10 月号 p.90-93 デンタルダイヤモンド社

歯科医師敬白

浪越建男

新聞 QUINT 2018.8,9,10 連載中 クインテッセンス出版

口腔内スキャナーを使いこなすコツ

小児矯正治療における口腔内スキャナー活用のコツ

金尾 晃

日本歯科評論 9 月号 p.104-112 ヒョーロン・パブリッシャーズ

院内で迷わず共有したい! 受付で情報キャッチ

原ゆかり, 塚本理紗子, 北川知佐

歯科衛生士 10 月号 p.75 クインテッセンス出版

新刊書籍

治る歯髄 治らない歯髄 歯髄保存の科学と臨床

泉 英之:著

2018 年 10 月発行 クインテッセンス出版

※できるかぎり集めていますが、掲載・出版情報がありましたら、事務局まで FAX またはメールでご連絡ください

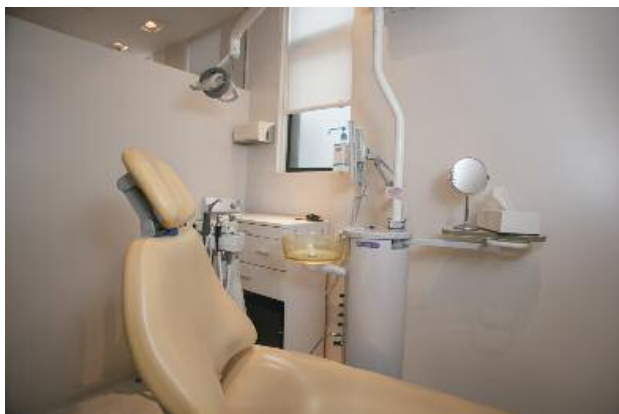
ヘルスケア歯科医院 ちよっと 拝見します

新・リレー連載 3

浅塾尚人（高知市開業 あさぎ歯科医院）

はじめまして、あさぎ歯科医院です

「なんだか面白そう」でスタートした浅塾的ヘルスケア歯科診療所も今年で11年目を迎えました。以前から認証歯科診療所になることを自分の歯科人生の節目にしたいと思っていましたので、今年認証をいただけてほっとしました。ご指導いただいた皆様、ありがとうございました。認証ミーティング後、軽い打ち上げ会がありましたが、その席で「しゃべりたらん」「時間が少ない」とわめいてましたので、じゃあという流れで今回のお話が回ってきたものと思います。なので認証ミーティングのなかで話せなかった内容に引っ張られる部分もありますが、ご容赦ください。



僕は平成7年に高知県で開業しまして、今年で21年目になります。その約半分の時間をヘルスケア型診療所を目指して活動をしてきました。順風満帆というわけでもなく、いろいろな意味で上がったり下がったりを経験してきましたが、現在はユニット6台、受付3名、助手(DA)3名、歯科衛生士(DH)4名、歯科医師(Dr)2名で忙しくさせてもらっています。

毎週のイベント；水曜日の自由時間と土曜日の昼ご飯

簡単ではありますが、院内の活動について紹介をいたします。毎週のイベントとして、水曜日に1時間の自由時間をとっています。各自が予定を立てて技術系の実習をしたり、気になる問題の見直しをしています。たいてい3つの島に分かれて始まり、僕がその間をうろちょろして呼ばれると、アドバイスをしたり、その場で、医院全体のルールを作ったりします。医院全体のルールは手書きで回覧板を作り、スタッフ全員で共有するようにしています。超アナログではありますが、スタッフ間のコンタクトもできていいように思います。

また土曜日限定ではありますが、お昼ごはんを作り、ご近所のおばあちゃんが来てくれます。12:00ぐらいになると、ぱーんのご飯のいい匂いが診療室内に漂ってきて和やかな雰囲気になってきます。理屈抜きで、時間をか



けて作ってくれたごはんを食べるのは楽しいです（注；奥さんも、勿論ちゃんと作ってくれていますよ）。ママさんスタッフは、いつもは家庭で作る側ですが、午前の仕事を終えてスタッフルームに入ると、ご飯が用意されていることがうれしいみたいです。この日は栗ご飯でした。

話は変わりまして、口腔内写真と10枚法のエックス線写真を、ユニット前の大きなモニターで写すのが今のトレンドのようですが、僕は自分の治療跡を大寫して見るのには抵抗があると、治療をしているなかでの確認と患者さんへの説明なので、目をあまり大きく動かしたくないということもあり、治療テーブルに横長の小型モニターを、昔のシャーカステンのイメージで設置して使用しています。

メンテナンス治療

ここからはメンテナンスに絡んだ内容です。小児のなかには、まれに歯質の成分が飛んでしまって、すかすかに白濁していたり、エナメル質形成不全と見受けられる大白歯がありますが、「カルボセメントで歯を包むように覆う」をメンテナンスにくるたびに行いますと、徐々に歯の表情が変わってきます。

メンテナンスが確立しているからこそできる方法で、メンテナンス治療とでもいえるかもしれません
毎年、行政と高知県の歯科医師会がタイアップして口腔内の



健康な方を表彰しています。昨年は当医院の76歳の患者さんが表彰されました。

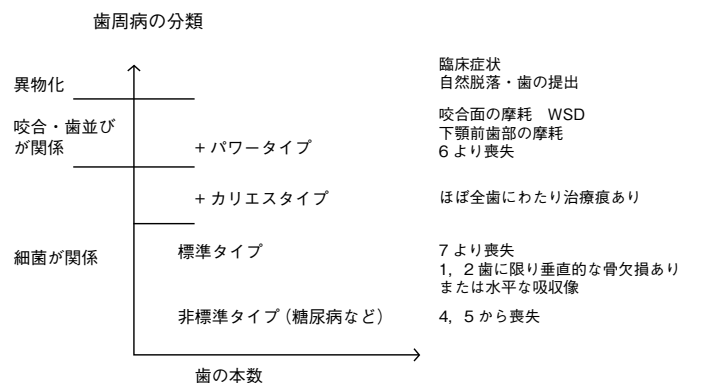
待合室に表彰状が飾ってあります、毎年増えてコレクションできるようがんばります。（僕の思いとしては、いわゆる若年性や侵襲性の歯周炎で、どうしようもない歯を10年間、何とかもたした患者さんを評価してほしいのですが…）

歯周病のタイプ別治療方法をデータで裏付けたい

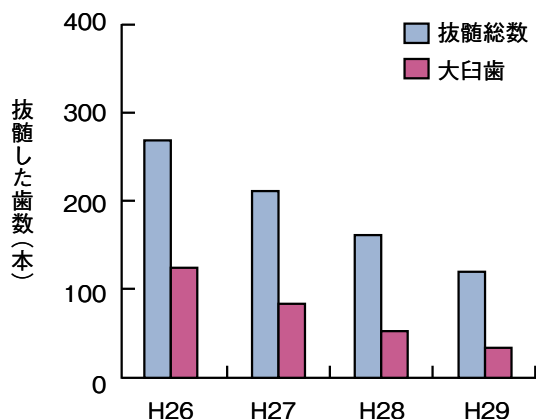
メンテナンスを続けていると、早いうちに歯を次々と喪失される方と、そうでない方がいることに気がつきます（上顎の歯から喪失するように思いませんか？）。当初は、見分けがつかず、ちゃんと通っているのに歯が抜けていく、と患者さんに言われたことがありました。この時はメンテナンスを続けていくことが、苦しくなった時期でした。従来のP1 P2 P3 という分類は、骨の吸収状態いわば結果に対する分類ですので、経過や原因で分けることができないかと思い、いろいろな考え方の本を読んで、まとめたのが下の図です。

まだメモ書き程度で皮膚感覚ではありますが、40代未満は標準タイプが多く、60代より上はパワータイプが多いように思います。また小白歯が欠損している方には要注意、糖尿病など全身的な疾患を抱えている方が多いようにも思います。ある程度タイプ別に分類ができれば、考え方、治療方法がパターン化されてくるので接し方が楽になります。今後はそれぞれのタイプ別治療方法を勉強してデータで裏付けできたらと思います（一番やりたいことかな）。

「健全な歯髄は最良の根充填材」という思いがあり 3mix-mp 法を採用しています。ご存知の方も多くおられると思いますが、変質しやすい薬なので、その日使う分を、その日に調合する必要があります。とても優れた薬で抜髄になるケースをかなりの確率で回避し通常のインレーにすることができます。以下の図はレセコンから拾ってきた当医院のデータです。



抜髄が29年度には総本数で120本、大臼歯に限ると30本に激減しているのがお分かりいただけると思います（認証ミーティングで発表したとき、ここでOhhーとどよめく予定だったのですが… 手前味噌ですいません（笑））。



まとめ

チーム医療という聞こえはいいですが、当医院でのそれぞれの役割はまずDrは技術を磨いて知見を広げ、院内での流れを体系化する、DHはメンテナンスを中心に経験値をあげる。DAと受付は言葉足らずをフォローすることだと考えています。まだまだ道半ばで医院の内外に対してやりたいことは多くあります。結局、僕はスタッフとワイワイやりながら患者さんの口腔内の健康をいっしょに作り上げていくことが好きなんだと思います。

ボーカルがいてベースがいてドラマーがいて、いろんな人が関わって始めてコンサートの幕が上がるように！

みんないつもありがとう

それから相談相手になってくれたり、(近頃は少々でしゃばってくるけども)陰で支えてくれる副院長(奥さん)ありがとね。



○第11回認定歯科衛生士実技検定会

日時：2018年12月9日
場所：太陽歯科衛生士専門学校

○歯科衛生士育成基礎コース⑤⑥

日時：2019年2月10・11日
場所：太陽歯科衛生士専門学校

○ウイステリアベーシックセミナー

日時：2019年2月17日10:00～16:00
場所：スペースアルファ三宮(神戸)
<http://www.spacealpha.jp/sannomiya/>
初心者コース、経験者コースにわけてウイステリアの使い方、活用方法をお伝えします。サンプルデータの入った試用版でハンズオンも行います。

参加費：
医院単位でお申し込みください。
1人目 15,000円
2人目以降 3,000円/1人につき
昼食弁当なし

○歯周組織検査相互実習研修会

日時：2019年3月3日
場所：太陽歯科衛生士専門学校

○第5期第1回オピニオンメンバー会議&併催セミナー

日時：2019年3月10日
午前 オピニオンメンバー会議
午後 併催セミナー
場所：品川シーズンテラスカンファレンス
東京都港区港南1-2-70 シーズンテラス3F
<http://www.sst-c.com>

○徳島ワンデーセミナー

さあ、はじめよう、ヘルスケア！
ほんまもんのホームデンティストが目指す
チーム医療3ー小児・成人・老人へと
ヘルスケア的なかかわり方を考える
日時：2019年4月21日10:00～16:00
場所：徳島大学蔵本キャンパス内
長井記念ホール(歯学部横)

参加費(昼食代含む)：
会員歯科医師 6,000円
非会員歯科医師 10,000円
会員スタッフ 3,000円
非会員スタッフ 5,000円
学生・院生・研修医 1,000円
※徳友会会員・スタッフは無料

○東京ワンデーセミナー

あなたがしたい診療は、どんなものですか？ 私たちには、自信を持ってお薦めしたい診療スタイルがあります
日時：2019年5月26日10:00～16:00
場所：東京八重洲ホール 地下ホール
参加費：

会員歯科医師 8,000円
非会員歯科医師 12,000円
会員スタッフ 3,000円
非会員スタッフ 6,000円
学生・院生・研修医 1,000円
昼食弁当なし

○実践セミナー東京フォローアップ

日時：2019年8月4日
場所：川口フレンジア(川口市)
<http://www.friendia.jp/index.html>

○第3期実践セミナー

日時：2019年9月15・16日、
2020年4月25・26日の4日間
場所：ホテルクラシア大阪ベイ
(旧コスモスクエア国際交流センター)
<https://www.kensyu-center.jp/>
定員：15名

○関東実践セミナー

日時：2019年9月22・23日、
2020年3月21・22日の4日間
場所：クロス・ウェーブ船橋(船橋市)
<https://x-wave.orix.co.jp/funabashi/>
参加費：80,000円
(受講料4日、1泊2日×2)

○九州実践セミナー

日時・場所：未定(2019年)

○実践セミナーフォローアップ

日時：2020年5月23・24日
場所：未定



ヘルスケア フォーラム

歯科衛生士育成基礎コース

2018年9月23・24日 太陽歯科衛生士専門学校

まずは、今使用している薬液の効果 を理解する必要がある



福島 縁（歯科衛生士・
ながさわ歯科）

ヘルスケアの歯科衛生士育成プログラムの一日目は主に座学で、ヘルスケアのシステムを実際に取り入れ、日々歯科診療を行う歯科医師や歯科衛生士の方々からお話を伺うことができました。そのなかで私は歯科衛生士として働くうえで必要な知識を学ぶことができました。

午前中はヘルスケアを取り入れた診療についての講義でした。ヘルスケア歯科診療と自分の医院の診療にはたくさんの違いがありました。たくさんの違いがあったなかでも、清潔不潔の区別や滅菌・消毒の方法については自分の医院でもすぐに改善できるものもあるのではないかと感じました。清潔不潔の区別については常に自分で意識を持ち行動することや、口腔内に触れずに行うことが可能なものならグローブをせずに行動することを心がけることで改善が可能ではないかと思いました。

滅菌・消毒の方法では、今の院内のチェアの拭掃や器具の洗浄方法だとタンパクの除去ができておらず、基本セットなどの器具にはタンパクを落とさず消毒液につけてしまうことがあって、実はタンパクがこびりついてしまい逆効果になっていることに気づきました。きちんとしている「つもり」では、せっかく

消毒をしていても意味がなくなっています。まずは今自分の医院で使用している薬液等にどのような効果があるのかをしっかりと理解する必要があると感じました。そのうえで、医院で情報を共有し、話し合いをして滅菌・消毒の手順の見直し、改善していきたいと思います。

セミナーで学んだことを当医院でも 取り入れていきたい



松崎由恵（歯科衛生士・
あきやま歯科クリニック）

私が歯科衛生士・育成プログラム東京基礎コースを受講した理由は口腔内写真や歯周組織検査、苦手なコミュニケーションを先輩歯科衛生士の方々や同年代の歯科衛生士の方々が日常的にどう行っているのかを学び当医院で共有したかったからです。

コミュニケーションスキルのお話では、人はだいたい4タイプに分けることができ、タイプ別でコミュニケーションの取り方を変えなければいけないと分かりました。

実際に臨床でも患者様の機嫌が悪いのかなと思ったり、どう説明をすると気持ちよく帰っていただけるのかと日々悩んでいたのですが、見事に4タイプに患者様が当てはまり、これからの対応を見直さきっかけになりました。

患者様だけではなく自分のことも知る

きっかけになりストレスマネジメントも学ぶことができました。

ゲームをしながらコミュニケーションを学ぶ時間もあり他医院の歯科衛生士の方々とも仲良くなることができました。

ゲームではグループで成し遂げることの難しさ、チームワークの大切さを感じました。

臨床でも滅菌や消毒、歯科医師のアシスタント、メンテナンス業務などシステム改革を話し合い分担し実行に移す必要があると感じたのでセミナーで学んだことを当医院でも取り入れていきたいです。

今でもやりがいを感じ仕事をさせていただいていますが、長く勤めることで患者様との信頼関係を築き上げることができ、またスタッフとのチームワークもよくなると思いますので、やりがいをもち長く勤めることができるように技術も話術も身につけ医院を引っ張っていきたいです。

歯科衛生士24年目… 一から勉強 し直そうと参加を決めた



染井志穂（歯科衛生士・
さかえ歯科クリニック）

私は歯科衛生士24年目、経験だけがありますが、これは完璧にできると自信を持って言えることはあるのだろうかと思うことが多くなり、一から勉強し直そうと育成基礎コースへの参加を決めました。

二日目は、口腔内写真撮影、歯周組織検査の実習でした。写真は苦手で、上手く撮れないけど改善方法がわからず、ただ漠然と撮っていました。何故、口腔内写真が必要なのか、規格性を問われるのか理解しているつもりでしたが、事前に指定されたテキストを読み、実習することにより、「理解しているつもり」から、理解することができました。ミラーの位置や、これから何を練習しなければいけないのか、細かく教えていただきました。

プロービングは、日常当たり前のよう
にやっていましたが、自己流になってい
たことがよくわかりました。ウォーキン
グストロークや挿入角度、ミラー視につ
いて全顎にわたりチェックしていただき、
苦手な部位がわかりました。口腔内写真、
歯周組織検査ともに自分が患者役になり、
講師の方にデモしていただきミラーの開
き方、どこまで入れられるのか、検査で
は一定のリズムでのウォーキングストロ
ークなど、自分とのやり方の違いを体感
することでポイントがよくわかり、また
患者さんへ痛みや不快感を与えていたこ
とを反省しました。

試験までには、たくさんの課題があり
ますが、アドバイスしていただいたこと
を常に念頭に置いて日々練習したいと思
います。

また、様々な年齢の方と出会い、情報
交換や、悩みなどを話せる友ができ、い
い刺激を受けながら最後まで頑張りたい
と思います。今回、このセミナーに参加
するにあたり多大な協力をしていただい
ている院長には感謝の言葉しかありませ
ん。必ず認定を取得し、臨床に生かして
いきたいと思っています。

**今まで撮影していた写真とは確実に
違い、歯周組織検査でも新しく気づ
いたことがあった**



松下奈緒（歯科衛生士・
たるみ歯科クリニック）

歯科衛生士育成基礎コースの2日目は
口腔内写真・歯周組織検査の講義・実習
を行いました。

歯科衛生士1年目の私は、勤務する歯
科医院でも先輩方にたくさん練習につき
あっていただき、口腔内写真の撮り方や
構図、歯周組織検査はある程度理解して
いました。しかし、今回の実習で撮影し
た口腔内写真は私が今まで撮影していた
写真とは確実に違い、歯周組織検査でも
新しく気づいたことがありました。

実習では受講生2人に1人のインスト
ラクターの方がついて下さり、たくさ
んのアドバイスをいただきました。まず口
腔内写真の実習では、撮影する自分の姿
勢から振り返り、患者さんに苦痛を与え
ないような配慮の仕方を学びました。患
者さんはもちろんですが、自分にとって
も負担がかからないようにしなければな

らないと感じました。そして、写真を撮
影するときには、今まで以上に細かい部
分まで意識することで、より正確な写真
が撮れることを実感しました。

また、歯周組織検査の実習ではプロ
ープの持ち方・動かし方など、学生のとき
に学んだことを近くでスタッフの方に見
ていただけて改めて見直すことができま
した。特に苦手と思っている部位も、ポ
ジションやミラーの使い方など普段自分
がやっていたやり方以外にもっとやりや
すく、測定しやすい方法があることに気
づきました。

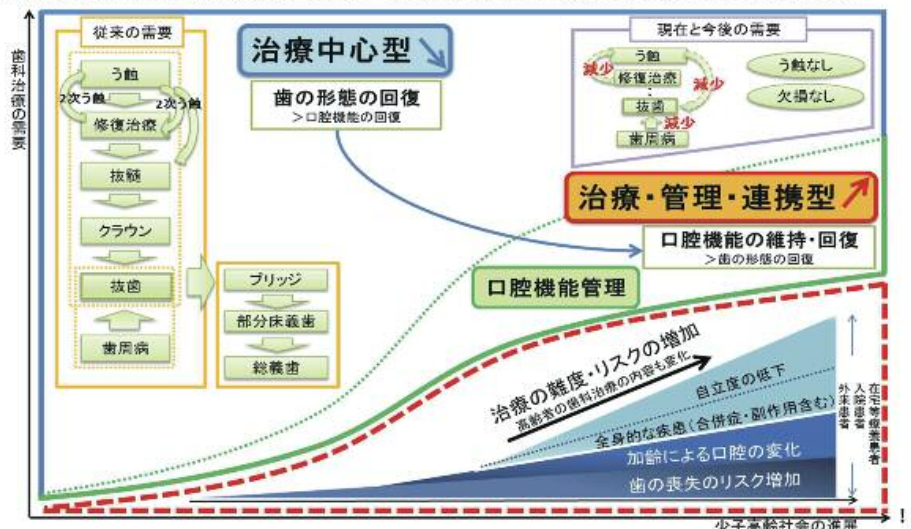
口腔内写真も歯周組織検査も、基本的
なことができる歯科衛生士になるために
は毎日の練習が必要だと思います。さら
に、正確に写真を撮れることや検査がで
きることで初めて一緒に働くスタッフ
の方々と情報交換・情報共有などができ、
チーム医療に参加し、患者さんの口腔内
の評価・自分の振り返りにも繋がると感
じました。実習で教えていただいたこと
や、そのときに感じた気持ちを忘れない
ように練習を続け、日々の診療にも活か
していきたいです。



平成30年度診療報酬改定

歯科治療の将来予想(イメージ)

○ 人口構成の変化や、歯科疾患罹患状況の変化に伴い、歯の形態の回復を主体としたこれまでの「治療中心型」の歯科治療だけではなく、全身的な疾患の状況などもふまえ、関係者と連携しつつ患者個々の状態に応じた口腔機能の維持・回復(獲得)をめざす「治療・管理・連携型」の歯科治療の必要性が増すと予想される。





日本の歯科疾患の変化と今後

相田 潤（東北大学大学院歯学研究科）

時代とともに疾病構造は変化をしていく。その変化をデータから把握して適切に対応することが必要だが、実はこれは難しい。例えば、平均現在歯数が増加して（8020 が達成されて）、総義歯などの大きな補綴治療は減少しており、補綴治療の保険点数が総点数に占める割合は減少をしている。しかし大学の歯学教育に占める補綴関係の教育時間は依然として大きい。また「う蝕は減少した」ことは強調されるが、永久歯う蝕は世界一多い疾患でありこれは日本でも同様である。有病率でみれば中年では減少しておらず、さらに高齢者では平均現在歯数の増加に伴い経年的に「増加」している。また子どもでも、他の疾患よりも依然として多い疾患である。直感的な常識にとらわれることなく、疫学研究の視点から歯科疾患の状況を解釈し、今後の歯科界の目指すべき方向性を考えたい。

2007年 北海道大学大学院歯学研究科 博士課程 口腔医学専攻修了

2007年 東北大学大学院歯学研究科 助教

2010年 University College London 客員研究員

2011年 東北大学大学院歯学研究科 准教授

2012年 宮城県保健福祉部 参与（歯科医療保健政策担当） 兼務

2014年 東北大学大学院歯学研究科 臨床疫学統計支援室 室長 兼任

現在、日本老年学的評価研究（JAGES）・コアメンバー、International Centre for Oral Health Inequalities Research and Policy・コアメンバー、BMC Oral Health・Associate editor、Journal of Epidemiology・Associate editorなどを務める。



日本の歯科保健の現状と今後

小椋正之（厚生労働省保険局歯科医療管理官）

平成 27 年 12 月 7 日、社会保障審議会の医療保険部会と医療部会において、以下の 4 つの視点を含む平成 28 年度診療報酬改定の基本方針が策定され、これらを踏まえて平成 28 年度診療報酬改定は行われた。

改定の基本的視点

「病床の機能分化・連携」や「かかりつけ医機能」等の充実を図りつつ、「イノベーション」、「アウトカム」等を一層重視。地域で暮らす国民を中心とした、質が高く効率的な医療を実現。

視点 1 「地域包括ケアシステム」の推進と、「病床機能分化・連携」を含む 医療機能の分化・強化・連携をいっそう進めること

視点 2 「かかりつけ医等」のさらなる推進など、患者にとって安心・安全な医療を実現すること

視点 3 重点的な対応が求められる医療分野を充実すること

口腔疾患の重症化予防・口腔機能低下への対応、生活の質に配慮した歯科医療の推進

視点 4 効率化・適正化を通じて制度の持続可能性を高めること

平成 28 年度診療報酬改定において、この視点 2 及び視点 3 を踏まえて、かかりつけ歯科医機能強化型歯科診療所の施設基準が新設されることとなった。また、平成 30 年度診療報酬改定において、かかりつけ歯科医機能強化型歯科診療所の施設基準の見直し等が行われた。

当日は平成 28 年度診療報酬改定、平成 30 年度診療報酬改定をはじめとした近年の歯科医療保険の動向を概説する予定としている（参考図；左ページ）。

明日は見えていますか？ あなたが創る未来の歯科医療

日時：2018年11月23・24日（金祝・土）

会場：秋葉原コンベンションホール（東京・秋葉原）

Day 1 11月23日（金祝）10:30～16:15

日本の歯科医療の現状と将来展望とヘルスケアの活動実績（臨床成果など）をもとに、ディスカッションを通じて「明日を（見える化）する」パートとする。

10:30	趣旨説明	齊藤 仁（札幌市開業）
		日本ヘルスケア歯科研究会設立から20年を経て次代を担う歯科医師の意識・考えはどうか？ 来院する患者さんの現状はどうか？（初診来院調査から）
10:50		「日本の歯科疾患の変化と今後」
		相田 潤先生（東北大学歯学部准教授）
11:40	休憩	
11:50		「日本の歯科保健の現状と今後」
		小椋 正之先生（厚生労働省歯科医療管理官）
12:40	昼食	
13:40		ヘルスケア歯科診療を実践してきた成果
		藤木 省三（神戸市開業）／杉山 精一（八千代市開業）
15:00	休憩	
15:15～	ディスカッション	
16:30	交流会	
18:30	懇親会	（グレースバリ秋葉原店）

参加費	会員	非会員
歯科医師	12,000円	15,000円
その他	5,000円	8,000円
学生*	無料	
懇親会	5,500円	

20周年記念特別優待：会員歯科医師の紹介をうけた歯科医師・スタッフは会員扱い

*会員・特別学術会員などの紹介を受けた学生・研修医 無料

お知らせ・ご注意

- ・お申し込み FAX 受理後、事務局より振り込み案内をお届けします。振込手数料はご負担ください。
- ・事前にキャンセルされた場合は、手数料を差し引いた参加費を返金します。但し10月末日以降の場合は、ご返金できませんので、ご了承ください。

お申し込み・お問い合わせ…

一般社団法人 日本ヘルスケア歯科学会事務局

FAX：03-3260-4906 TEL：03-5227-3716 <http://www.healthcare.gr.jp/>



ホームページからも申し込みできます

Day 2 11月24日（土）9:30～13:00

バーチャル・ヘルスケア歯科医院見学

ヘルスケア歯科診療所を見学したときに目にすることができるようなビデオ映像を参考に、ヘルスケア診療の本質について、多様な実践者が①患者さんへのアプローチ、②チーム医療、③診療の基本の三つのパートに分けてディスカッションする

9:30	趣旨説明	林 浩司（真岡市開業）
9:40	Part1：伝える——患者さんへのアプローチ	規模と地域さまざまな3院の院長と高橋 啓
10:30	Part2：ヘルスケア診療は、チーム医療で可能になる	若手4人の歯科医師と千草 隆治
11:20	休憩	
11:35	Part3：ヘルスケア歯科診療の実践のコツ	4人の歯科衛生士と藤木 省三
12:30～	全体ディスカッション	

11月24日（土）14:00～18:00

禁煙支援歯科衛生士育成ミーティング 参加無料

ファシリテーター：歯科衛生士育成基礎コースインストラクター

- ・歯周病患者さんのインタビュー（3～5人）から作成した意見交換の引き金となるビデオ（トリガーフィルム）を閲覧したうえでのグループワーク
- ・口腔衛生指導の一環として喫煙習慣について患者さんに尋ね、患者さんといっしょに考えている（禁煙支援）の実例紹介を見たうえでのグループワーク

※お申し込みはこのニュースレターに同封のパンレットをご利用ください

託児サービスあります！（両日）

- ・対象年齢0～5歳
- ・要事前申込（受付終了しました）

参加申し込み Fax. 03-3260-4906

参加を申し込みます（news21-4）

ヘルスケアミーティング2018参加申込み（会員専用）

（必要項目で記入、該当欄に✓印を記入ください）

フリガナ	会員番号：	フリガナ	会員番号：
ご氏名	<input type="checkbox"/> 会員歯科医師 <input type="checkbox"/> 会員その他 <input type="checkbox"/> 懇親会 <input type="checkbox"/> 非会員歯科医師 <input type="checkbox"/> 非会員その他	ご氏名	<input type="checkbox"/> 会員歯科医師 <input type="checkbox"/> 会員その他 <input type="checkbox"/> 懇親会 <input type="checkbox"/> 非会員歯科医師 <input type="checkbox"/> 非会員その他
フリガナ	会員番号：	フリガナ	会員番号：
ご氏名	<input type="checkbox"/> 会員歯科医師 <input type="checkbox"/> 会員その他 <input type="checkbox"/> 懇親会 <input type="checkbox"/> 非会員歯科医師 <input type="checkbox"/> 非会員その他	ご氏名	<input type="checkbox"/> 会員歯科医師 <input type="checkbox"/> 会員その他 <input type="checkbox"/> 懇親会 <input type="checkbox"/> 非会員歯科医師 <input type="checkbox"/> 非会員その他
勤務先・診療所名		参加申し込み人数	人 合計金額 円
住所 〒	-	電話番号	-
		FAX番号	-
e-mail			